

2013.
10月号

広報～風・菜・樹 ふなき便り

社会福祉法人 扶老会 障害福祉サービス事業グループ

第31回地域交流フリーマーケット 開催!!

地域の皆様からの多数の出店をして頂き、今秋もフリーマーケット開催の運びとなりました。年々賑わいを増していく行事ですが、今回は当日の様子に加え、前日からの準備の様子も合わせてお伝えしていこうと思います。



今回のフリーマーケットも多数の方に来場して頂きました。天候にも恵まれ、とても賑やかなイベントとなりました。



今回イベントで地域から参加いただいたのはエンジェリックシャウト様（写真左）とイシイバレエ様（写真右）。すてきな歌声とダンスを披露していただきました。



毎回恒例の豚汁無料配布。たくさんの方に並んで頂き、大盛況でした。



今回初めてジャンケン大会を企画しました。特別ゲストに赤い羽根共同募金のマスコットキャラクター希望くんも参加し、最後まで白熱した試合が行われました。

こちらも恒例となりました菓子まきです。子供さんから大人の方まで、たくさんお土産のお菓子を持って帰って頂くことができました。



フリーマーケットの舞台裏～準備はこうして進みます～

フリーマーケット実行委員会の様子です。本番までに何度か話し合いを行い、イベントや出店の内容、ポスターのデザインなどを決めます。これまで出店された方への案内状の送付やポスター作製、イベント告知やPRなど各部署で分担して行います。



草刈り、草集め作業

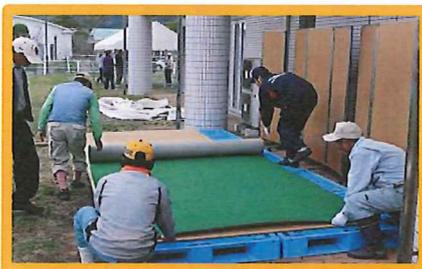
会場の準備の様子です。会場の草を刈ってきれいにした後、区画の線を引いていきます。区画の線はビニールロープでひいていきます。



区画のできあがりです



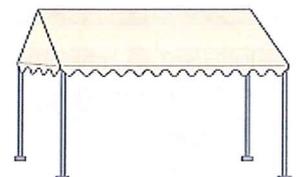
出店の各店舗で売る食材の購入も行います。ジュースや肉、野菜、うつわなど色々です。



前日の準備の様子です。テント建てやステージ、音響のセッティング、菓子まきやゲームの準備、などいろいろな準備や当日の流れや分担などの最終確認を行います。

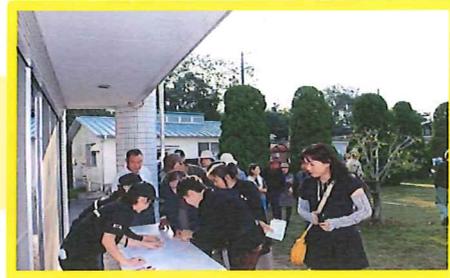


そして当日へ！！
右ページへつづく...

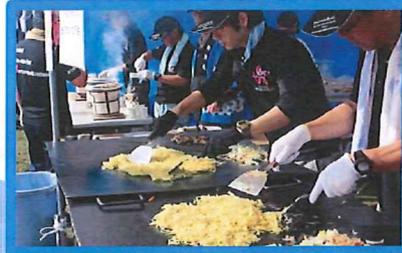


フリーマーケットの舞台裏～当日の舞台裏～

出店者の方の受付の様子です。
本部で名前の確認と区画の案内を行います。
朝の早い時間から来場されて準備されている方もいらっしゃいます。



利用者さんも含めて、全体の朝礼と1日の流れについて説明を行っています。



飲食関係の出店では販売の準備に取り掛かります。



駐車場係は来場されたお客様の車の誘導を行います。



本部では受付の後もイベントの準備や忘れ物のアナウンスなど大忙しです。



フリーマーケット実行委員会の挨拶

扶老会の地域交流フリーマーケットもこの度第31回を迎える事ができました。

準備等はスタッフや利用者で行なっておりますが、フリーマーケットに出店下さる数多くの皆様、及びステージへご出演頂いている皆様のお力添えもあり、ここまで歩んでくる事が出来ました。

今度ともどうぞ宜しくお願い致します。



総合防災訓練の実施

9月27日（日）、社会福祉法人扶老会 障害福祉サービス事業所4事業所合同（以下、ハイツグループ）にて、総合防災訓練を実施致しました。

当日は、メイトふなきから火災が発生した事を想定し、火災の発見から通報、初期消火活動と並行しながらグループ全体的としての避難活動、その後実際に消火器を使用した消火訓練を実施致しました。また、当日は宇部・山陽小野田消防局の隊員が来られ、訓練時の全体の動きや消火器訓練への指導を頂きました。

ハイツグループではこのような総合防災訓練を年2回実施すると共に、今回のような火災想定だけに留まらず、土砂災害や地震、また生活の場としての夜間時や土日祝日時を想定した訓練を毎月実施しています。

職員の誘導の元、利用者さんに避難して頂きます。自分の施設だけでなく、避難が済んだら他の施設への手伝いをするなど、連携が重要です。



実際に消火器を使っでの消火訓練です。消防の方より、火と消火器の距離や風向きが大事との説明を受けました。

佐伯所長の

今月のエソラゴト!

早いもので、今年も残すところ2か月余り。年末には、その年を象徴する言葉を決める「新語・流行語大賞」が発表されます。一年を振り返るには、まだ少し早い気もしますが、今年の流行語大賞は例年にないハイレベルな争いになりそうです。あまちゃんの「じぇじぇじぇ」、半沢直樹の「倍返し」、林修氏の「今でしょ」、滝川クリステル氏の「おもてなし」等、強豪揃いの印象が強いです。その中で、安倍晋三首相の経済政策「アベノミクス」も大賞候補の一つと目されています。アベノミクスの効果＝景気回復を実感しているか否かは、人により様々だとは思いますが、政策が大賞候補に挙がるのは政局安定の表れ、とする見方もあります。

そんな中で表明された“消費増税8%”。消費税は段階的に数年内に10%まで引き上げられる見込みです。この“消費税増税”の背景には“社会保障と税の一体改革”があります。税率引き上げの増収分は、社会保障の充実・安定化の財源になると言われています。国が“改革”と掲げているように、社会保障制度も今後大きく変わっていく見込みです。その改革の柱の一つである医療・介護分野において“2025年モデル”という重要なキーワードがあります。2025年には、国民の5人に1人が75歳以上となる「超高齢化社会」がやってきます。“施設から在宅へ”、“病院完結型から地域完結型へ”といったずっと先送りにされてきたパラダイムシフトが、いよいよ現実的に行われることとなります。その“2025年モデル”への改革スケジュールも既に具体的に示されています。これから、凄まじい速度で医療や福祉の現場に変化が起こります。その激流の中で、事業者が生き残るには、如何に自らの“創造力、決断力、行動力”をもって“変化に対応できるか”、にかかっていると思います。

“おもてなし”の精神で、利用者が“じぇじぇじぇ”と感動する、地域に感謝の“倍返し”をいつやるの?“今でしょ!”。そんな使命感を持って、我々社会福祉法人は変わらないといけません。

(佐伯)

CHECK!



〒757-0216 山口県宇部市大字船木833
社会福祉法人扶老会 障害福祉サービス事業グループ

- ・ハイツふなき (0836)67-0188 自立訓練・宿泊型自立訓練・就労継続支援B型
- ・ヴィラふなき (0836)67-1883 グループホーム・ケアホーム
- ・生活支援センターふなき (0836)67-2464 相談支援事業・日中一時支援
- ・サムラ (0836)67-0171 就労移行支援事業・就労継続支援B型

ホームページ <http://www.furoukai.jp/>

ブログ <http://www.furoukai.jp/cms/heightsfunaki/>